

令和7年 7月23日

令和6年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立坂西北小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

○計画通り実施できている

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

○実施している

・実施していない

(3) 自校における評価

- ・授業後には、英語でのあいさつを日常的にするようになるなど、英語に親しむきっかけとなっている。
- ・2年生は「早く2学期になって英会話学習をやりたい。」と言うほど、とても楽しみにしている。
- ・ALTやEAAの先生の発音をよく聞いて、積極的に発音することができている。
- ・低学年から英語に慣れ親しむことで、「英語が大好き」という子供を育てることができている。
- ・季節にあったイベントや授業をALTやEAAの先生が行っているので、季節感のある充実した授業をすることができている。
- ・英語の発音やスペルをALTやEAAの先生が確認してフィードバックしてくれるので、子供たちが安心して練習できる環境が整っている。
- ・ALTやEAAの先生に会うと、積極的に話しかけることができている。
- ・外国の文化について知るきっかけになっている。

(4) 学校関係者による評価

<児童>

- ・英語でゲームをしたり話したりするのが楽しい。
- ・活動が多いので、とても楽しい時間。
- ・ゲーム、歌、ダンス、コミュニケーションなど楽しい活動が多い。
- ・いろいろな英単語を覚えたり、話したりできるようになった。
- ・友達のことを英語を使って知ることができるから楽しい。
- ・英語チャレンジ DAY で、英語の先生のことをよく知るために、たくさん質問することができた。英語が通じると嬉しい。
- ・ALTやEAAの先生が、楽しく教えてくれるのがいい。
- ・英語を話すことができるようになってきている。

<保護者>

- ・英語の歌を楽しんでいる。
- ・家でも英語の言葉に興味をもつようになったり、習った英単語を話したりする。
- ・英語に興味をもつきっかけとなっていて良い。
- ・楽しいゲームや活動で、英語に親しんでくれるのはいい経験になっている。
- ・アルファベットを練習したり、英語のドリルに取り組んだりするようになった。
- ・「英語チャレンジ DAY で、1 日英語を使って疲れたけれど楽しかった。」と子供が言っていた。1 日英語で生活することはなかなかできない体験なので良かった。

3. 実施の効果及び課題

<効果>

- ・ALTやEAAの先生とすれ違うときには、英語で元気よく声をかけたり、あいさつをしたりしていた。
- ・外国の行事に合わせた学習活動を取り入れてくれたので、良い経験となった。
- ・楽しく英語に慣れ親しむことができた。
- ・高学年では、「読むこと」「書くこと」の活動時に、ALTやEAAの先生がその場でフィードバックしてくれるので、正しい英語を話したり書いたりすることができる。

<課題>

- ・事前打ち合わせが十分に取れなかった。
- ・ALTやEAAの先生とのコミュニケーションの難しさ。
- ・児童の様子や振り返りから、次時の学習内容の検討や児童の評価に生かしていきたい。

4. 課題の改善のための取組の方向性

- ・昼休み等に打合せをする。
- ・校内用に授業内容等が一覧になっているものや単語カードを作成しておく。
- ・児童の様子を見取りながら、担任がT1となって授業を進める。
- ・担任が英語を積極的に使う姿を見せることで、児童も「英語を使ってみよう。」という意欲が高まってくると思う。
- ・ジェスチャーを使いながら、積極的にコミュニケーションをとるよう心がける。